BEYOND AWARD 2017 応募要項

2017年8月





1 はじめに

「TEAM BEYOND」は、東京都が推進する、パラスポーツ(障害者スポーツ全体を指して使用しています。)を応援する人を増やすプロジェクトです。

東京に、日本全国に、パラスポーツを根付かせ、パラスポーツを通じて、東京を障がいのある人もない人も、女性も、男性も、子供も、高齢者も、誰もがいきいきと生活できる、活躍できる、多様性を持った都市「ダイバーシティ」としていくことを目指し、TEAM BEYOND は様々な情報発信や体験機会の創出を行っています。

このたびの「BEYOND AWARD 2017」では、音楽や映像という日常的に多くの方が楽しんでいる分野でのパラスポーツを題材とした作品の制作や投票を通じて、一人でも多くの方にパラスポーツに触れていただきたいと考えています。

パラスポーツを応援する人を増やすため、皆様のオリジナリティあふれる音楽と映像をお 待ちしています。

「BEYOND AWARD 2017」で制作される作品の役割

パラスポーツを応援したくなる音楽・映像

音楽を聞いた人、映像を観た人に、 パラスポーツを応援したい気持ちにさせるもの。

「BEYOND AWARD 2017」の音楽・映像の制作にあたっては、「制作にあたって満たしていなければいけない条件」と「制作にあたっての注意事項」が決められています(本応募要項 P.7)。また、法律的観点からの「8 注意事項」もあります(本応募要項 P.15)。その他にも、応募要項の最後に「TEAM BEYOND 主な活動内容」など制作の際に参考にしていただきたい情報を記載していますので、本応募要項をよく読んで理解していただき、制作・応募をしてくださるようお願いします。

2 応募資格・提出方法

応募資格・応募点数

- 1. 年齢・職業・国籍は問いません。
- ※ 未成年の方は保護者の同意の上ご応募ください。
- 2. 個人のほか、グループでの応募も可能です。
- 3. 応募点数は 1 名(1 グループ) 3 作品までとします。
- ※ ある個人が、3 作品を超えて応募した場合、個人およびグループの両方で3 作品を超えて応募した場合、複数のグループにまたがって3 作品を超えて応募した場合は、いずれの応募も無効となります。

● 応募サイト

TEAM BEYOND 公式ウェブサイト

https://www.para-sports.tokyo

応募にあたっては、お名前(実名)、連絡先(電話番号)、生年月日、応募者のニックネーム(グループの場合はグループ名)、作品名、作品紹介、作品 URL が必要となります。

- ※ ニックネーム、作品名、作品紹介はウェブサイト上で公開される項目となります。
- ※ グループでのご応募の際は代表者の情報以外に、関わったメンバーのお名前(実名) も必要となります。

● 応募期間

下記の期間中に作品を TEAM BEYOND 公式ウェブサイトの「マイページ」より提出してください。

2017年9月上旬 ~ 9月30日(土)23:59

- ※ 応募開始については、別途お知らせいたします。
- ※ 締め切り間際はウェブサイトが混雑し、繋がりにくくなることが予想されますので、 お早めにご提出ください。

● 応募後のご注意

応募した作品を、<u>TEAM BEYOND 公式ウェブサイト掲載前に</u>第三者に公開した場合 は応募を無効とさせていただく場合があります。なお、応募した事実自体を第三者に伝え ることについては、問題ありません。

<応募フロー>

STEP1

「4 応募作品の制作条件」(本応募要項 P.7参照)に沿って、作品を制作してください

応募する作品を、YouTube にアップロードしていただきます

- ※ その際「タイトル」欄には、応募する作品名をご記入ください。
- ※ YouTube ヘアップロードする際は、動画の公開設定を「限定公開」に 設定してください。
- ※ YouTube ヘアップロードする際は、事前に YouTube の利用規約をご確認ください。

https://www.youtube.com/static?template=terms&hl=ja&gl=JP

※ 「音楽部門」への応募の方は、音声データだけを YouTube ヘアップロードすることはできませんので、事前に動画ファイルに変換していただくようお願いいたします(本応募要項 P.6参照)。

TEAM BEYOND 公式ウェブサイトより入団登録(会員登録)をおこない ます

※ 入団登録(会員登録)済みの方は、ログインしてください。

フォームよりご応募くださ

- TEAM BEYOND 公式ウェブサイトの「マイページ」に設置する専用応募フォームよりご応募ください
- ※ 「ニックネーム」の項目はウェブサイトに表示される項目となりますので、実名のご入力はお控えください。
- ※ 作品名(タイトル)は、30文字以内でご入力ください。
- ※ 作品紹介文(制作意図)は、200文字以内でご入力ください。

STEP4

3 応募作品について

● テーマ

パラスポーツを応援したくなる音楽

音楽を聞いた人にパラスポーツの魅力を十分に伝え、

応援したい気持ちにさせるもの。

パラスポーツを応援したくなる映像

● 「パラスポーツを応援したくなる音楽」とは

- 観客席のサポーターが肩を組んで歌い上げる応援歌
- 試合に臨む直前に気持ちと集中力を高められるようなリズムやサウンド
- 家族で楽しく歌えるようなパラスポーツ応援ソング
- 競技の緩急に合わせミックスしたダンスナンバー
 - ※ 上記はイメージです。応募者の表現を制限するものではありません。

● 「パラスポーツを応援したくなる映像」とは

• 親子でパラスポーツを楽しんだり、応援する様子を編集した手作り感のある映像



ボッチャ日本代表、 がんばれ~!!

> (例)テレビでボッチャの試合を観戦し、声 援を送る子供たちの映像

• インターネットで人気の動画のようにパラスポーツの体験や実況などを行う映像





• パラスポーツの魅力を競技シーン以外の独自の視点で表現した映像



(例)競技会場に訪れた車いすのパラアス リートの目線の高さで映像をつなぎ、本番 に向けて気持ちを高めるパラアスリートの 心情を表現したもの

• テレビCMのように短い時間でアスリートの魅力を切り取った映像





※ 上記はイメージです。応募者の表現を制限するものではありません。

● 制作にあたっての提供素材

TEAM BEYOND 公式ウェブサイトより提供される素材をダウンロードして、作品に活用することができます。

- ※ 提供素材の利用の有無は問いません。
- ※ 提供素材は、順次更新予定です。

音楽部門へご応募の方は MP3 などの音声データだけを YouTube ヘアップロードすることはできないため、事前に動画ファイルに変換していただく必要があります。その際に利用可能な画像についても、TEAM BEYOND 公式ウェブサイトからダウンロードしていただくことができます。

● その他

音楽部門では、バンド、打ち込み、ボイスパーカッション、アカペラなど手法について 一切の制限はございません。ただし、最終審査候補作品の応募者には、実際にステージで 発表していただく機会がございますので、その点を考慮してご応募ください。

映像部門では、競技シーンに限らず、幅広く制作した作品をご応募いただけます。ドキュメンタリー、アニメーション、モーショングラフィックなど手法についても一切の制限はございません。

4 応募作品の制作条件

● 制作にあたって満たしていなければいけない条件

以下の制作条件を遵守してください。

- 1. 部門ごとのテーマに沿った内容であること
- 2. オリジナル未発表の作品であること
- 3. 「音楽部門」への応募の場合は、最終審査候補作品となった場合にステージで発表機会に参加できること
- 4. 「音楽部門」への応募の方は、曲の長さは30秒以上360秒以内であること
- 5. 「映像部門」への応募の場合は、動画の長さは 15 秒以上 120 秒以内であること
- 6. 1名/1組あたり応募できるのは3作品まで
- 7. 未成年の方は保護者の同意があること

● 制作にあたっての注意事項

以下に該当するものは審査の対象外となりますのでご注意ください。

- 1. 応募可能な作品点数を超えて応募があったもの
- 2. 既存の映像または音楽をアレンジしただけのもの
- 3. 肖像権、プライバシー権を侵害するおそれのあるもの
- 4. 第三者の著作権や商標権等の権利を侵害するおそれのあるもの
- 5. 既に公表されているもの (ウェブサイトに掲載されたものも含む) と同一または類似 のもの
 - ※ 応募後、TEAM BEYOND 公式ウェブサイト掲載前に、他のウェブサイト、SNS 等にアップされた応募作品も審査対象外となる場合がありますのでご注意ください。
- 6. 政治的・宗教的・商業的メッセージ、反社会的な要素、誹謗中傷を含むもの
- 7. 性別、文化、人種、民族、障がい等に基づく差別・偏見を含むもの
- 8. 公序良俗その他法令の規定に反するもの
- 9. その他制作条件を満たしていないもの

5 賞の種類

各部門に以下の賞を用意しています。

最優秀賞 : 1優秀賞 : 1

オーディエンス賞 : 2 (一般応募作品・ファミリー賞応募作品 各1)

ファミリー賞 :1

入賞 :10 (一般応募作品:7、ファミリー賞応募作品:3)

- ※ 以上に加え、東京都知事賞を予定しています。
- ※ 賞の種類および受賞者数については増減する可能性があります。
- ※ 受賞後に応募要項への抵触が発覚した場合、受賞を取り消す可能性がありますので、 あらかじめご了承ください。

6 審查

● 前提条件

応募作品について制作条件や各部門別テーマに沿って制作されていること。

● 審査の観点

共感性:応援したいと思わせることができている

東京都の政策との合致:「ダイバーシティ」につながる

独創性:新たな視点で描くことができている

芸術性:作品のクオリティが優れている

楽しさ(ファミリー賞のみ):子供や家族がパラスポーツを楽しんだり、一緒に応援した

くなるような内容が表現されている

● 審査のプロセス

応募いただく作品は4つのプロセスで選考を進めます。

審査過程については、TEAM BEYOND 公式ウェブサイトにて随時ご報告する予定です。

個別のお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

1 一次審査

応募条件や制作条件に違反していないかのチェックおよび上記の観点からの審査を おこない、通過した作品を公式ウェブサイトで公開

2 二次審査

「BEYOND AWARD 2017 審査会」にて二次審査を実施し最終審査候補作品 10 作品程度を決定

- ※ 作品名(タイトル)や作品紹介(制作意図)も審査対象となります。
- ※ ファミリー賞については、上記 10 作品とは別に最終審査候補作品5作品程度を決 定します。

3 ウェブ投票

TEAM BEYOND 公式ウェブサイトにて最終審査候補作品の発表および誰でも投票ができるウェブ投票を実施

- ※ お1人様1回の投票となります。
- ※ ファミリー賞の最終審査候補作品についても、投票していただきます。

4 最終審査

ウェブ投票の結果も考慮し、審査員が受賞作を決定します。

● 審査フロー



ファミリー賞について

(音楽部門)

親子で作った楽しくパラスポーツを観戦するための音楽、あるいは子どもが主体となって作曲や歌唱をした作品等については、ファミリー賞にも応募できます。

(映像部門)

親子でのパラスポーツの観戦や、プレー・体験する様子の映像、あるいは子どもが主体となって撮影や演出をした作品等については、ファミリー賞にも応募できます。

(審査について)

ファミリー賞は一般応募作品とは別に審査します。二次審査では最終審査候補作品5作品程度を決定し、一般応募作品同様、ウェブ投票を経てファミリー賞が決定します。

※ ファミリー賞に応募した場合、一般応募作品としても審査の対象となります。

- **旗振り役・審査員(2017年8月10日現在)** 敬称略・各区分において五十音順 〈旗振り役〉
 - 音楽部門



KenKen from TEAM AVALON

ミュージシャン。

1985年生まれ。ベーシスト。

2006 年 RIZE に加入。2015 年より Dragon Ash のサポートメンバーも務める。音楽プロデューサーとして東京都障害者スポーツ普及啓発映像「Be The Hero」、NTT docomo「U.F.O.」を手がける。才能豊かで、ベース/ギター/ドラム/パーカッション全ての楽器を自身で演奏する。

※J-WAVEのラジオ番組「AVALON」はTEAM BEYOND の活動に共感し、BEYOND AWARD2017「音楽部門」を応援します。

(参考: J-WAVEサイト)

http://www.j-wave.co.jp/sp/topics/1708_beyond.htm

• 映像部門



別所 **哲也**(俳優・「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」代表)

1965 年生まれ。静岡県出身。慶応義塾大学法学部法律学科卒業。90年、日米合作映画『クライシス 2050』でハリウッドデビュー。その後、映画・ドラマ・舞台・ラジオ等で幅広く活躍中。「レ・ミゼラブル」、「ミス・サイゴン」などの舞台に出演。99年より、日本発の国際短編映画祭「ショートショートフィルムフェスティバル」を主宰し、文化庁長官表彰受賞。観光庁「VISIT JAPAN 大使」、映画倫理委員会委員、外務省「ジャパン・ハウス」有識者諮問会議メンバーに就任。内閣府・世界で活躍し『日本』を発信する日本人の一人に選出。第1回岩谷時子賞奨励賞受賞。第63回横浜文化賞受賞。

<審査員>

• 専門家(音楽部門)



神田 竜也

1965 年生まれ。中央大学経済学部国際経済学科卒業。

1995 年 J-WAVE 入社。営業局営業促進部長、営業局営業部長、営業局長を経て 2017 年より編成局長に。

多様性の街"渋谷"にフォーカスした番組「AVALON」を編成。



野宮真貴

「ピチカート・ファイヴ」3 代目ヴォーカリストとして、9 O年代に一斉を風靡した「渋谷系」ムーブメントを国内外で巻き起こし、 音楽・ファッションアイコンとなる。 2010 年に「AMPP 認定メディカル・フィトテラピスト(植物療法士)」の資格を取得。2016 年はデビュー35周年を迎え、音楽活動に加え、ファッションやヘルス&ビューティーのプロデュース、エッセイストなど多方面で活躍中である。



松下 功

東京藝術大学副学長、東京藝術大学演奏藝術センター教授。 作曲家。指揮者。日本作曲家協議会会長。2020 東京オリン ピックパラリンピック文化評議委員

東京藝術大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学。

以後 86 年までベルリンに滞在し創作活動を行う。86 年、第7回入野賞受賞。98 年に長野冬季オリンピック文化プログラム・オペラ「信濃の国・善光寺物語」や開閉会式選手入場の音楽を作曲。2000 年、和太鼓協奏曲「飛天遊」が、ベルリンフィル・サマーコンサートで演奏され好評を博す。1999 年~2004 年、2014 年~再びアジア作曲家連盟会長を務める。

専門家(映像部門)



寺井 弘典

多摩美術大学美術学部情報デザイン学科特任教授 1961 年生まれ。多摩美術大学卒業後、ディレクターとしてビデオアート作品やミュージックビデオを演出。

その後、Vibe・MTV JAPAN オンエアプロモーション部クリエイティブディレクターとして、 チャンネルブランディング・番組パッケージ制作・Station-ID コンテスト等をプロデュース。文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。一方、若手の育成にも力を注ぐ。' O1 年 MTV JAPAN から P.I.C.S. の独立に参加。現在は CM・MV・WEB・オリジナルコンテンツ企画開発、キャンペーン、展覧会の企画展等、 メディアのカテゴリーにとらわれない幅広いプロデュースを行う。



中島信也

東北新社取締役/CMディレクター。1959 年福岡県生まれ大阪育ちの江戸っ子。武蔵美視覚伝達デザイン学科卒。'83「ナショナル換気扇」で演出デビュー。主な作品に日清食品カップヌードル「hungry?」('93 カンヌ広告祭グランプリ)、サントリー「燃焼系アミノ式」(ACC グランプリ)、サントリー「伊右衛門」(ADC グランプリ)、TOTO ネオレスト「菌の親子」(ACC シルバー)など。'96 劇場用映画「ウルトラマンゼアス」'10 劇場用映画「矢島美容室 the movie」を監督。武蔵野美術大学客員教授。



樋口 真嗣

1965年生まれ。茨城県立古河第三高等学校卒業。特技監督・映画監督・映像作家・装幀家。ガイナックス、GONZO、Motor/lieZを経てオーバーロード所属。IT企業のユビキタスエンターテインメントにおいてチーフ・ビジョナリー・オフィサーも務める。1984年『ゴジラ』にて映画界入り。95年『ガメラ大怪獣空中決戦』で特技監督を務め、『日本アカデミー賞特別賞』を受賞。ほかに、『エヴァンゲリオン』シリーズなど数多くのヒット映画作品に画コンテやイメージボードとして参加。主な監督作品は『ローレライ』、『日本沈没』、『のぼうの城』、『進撃の巨人2部作』など。最近の仕事に『シン・ゴジラ』。

パラリンピアン



鈴木 徹

1980 年山梨県生まれ。高校時代、ハンドボールで国体 3 位の成績を残し、スポーツ推薦で大学入学を決めるも、卒業直前に自動車事故で右足を失う。

リハビリをきっかけに走高跳をはじめ、初めての公式大会で当時の障がい者日本記録を超える 1m74 を記録。5 度のパラリンピックを経験し、年々記録を伸ばし、2016 年にはアジア記録、日本記録を更新する 2m02 を跳ぶ。

現在は、選手として活動するほか、企業や学校での講演活動も積極的に行っている。



田口 亜希

大阪府生まれ。大学卒業後、郵船クルーズに入社。客船 「飛鳥」にパーサーとして勤務。

25歳の時、脊髄の血管の病気を発症し、車椅子生活になる。退院後、友人の誘いでビームライフル(光線銃)を始め、その後実弾を使用するライフルに転向。アテネ、北京、ロンドンと3大会連続でパラリンピックに出場。アテネでは7位、北京では8位に入賞。現在は日本郵船広報 CSR グループに勤務。2016年オリンピック・パラリンピック招致活動では最終プレゼンターを務め、また2020年オリンピック・パラリンピック招致における国際オリンピック委員会(IOC)評価委員会の前でプレゼンテーションを行った。現在は東京オリンピック・パラリンピックの競技大会組織委員会アスリート委員、エンブレム選考委員、リオオリンピック・パラリンピック フラッグハンドオーバーセレモニー、ブランドアドバイザー、マスコット審査会委員等を務める。また、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事、公益財団法人笹川スポーツ財団理事を務める。

※ 以上に加え、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会及び東京都の審査員が加わる予定です。

7 選考結果発表

● 最終審査候補作品の公表について

TEAM BEYOND 公式ウェブサイトで 2017 年 10 月 20 日(金)に公表します。また、部門ごとに以下の発表の機会があります。

• 「映像部門」

渋谷街頭ビジョン(SHIBUYA Street Cinema 2200 by Short Shorts)やデジタルサイネージでの放映

● 結果発表について

2017年11月11日(土)に授賞式を実施し、発表する予定です。

● 受賞作品の活用について

TEAM BEYOND の公式ウェブサイト、出張ブースや東京都主催イベント等で使用予定です。また、パラスポーツの競技団体が、各団体の活動において使用する可能性があります。

8 注意事項

応募者(グループ応募の場合は、そのメンバー全員を含みます。以下同様。)は以下の各 事項をよく読んで十分理解し、承諾したうえで、作品を応募するようにお願いいたします。

● 応募作品の知的財産権等について

- 1. 応募者は、その応募作品が TEAM BEYOND 公式ウェブサイトへ掲載された場合、 当該作品に関する著作権(著作権法第27条および第28条に規定する権利を含みま す)、商標権、意匠権、その他の知的財産権(これらを出願する権利や、当該作品を 譲渡し、再現し、複製し、出版し、変更し、改変し、修正し、または頒布する権利を 含みますが、これらに限られません)、所有権等一切の全世界における権利を東京都 に無償で譲渡していただきます。また、当該作品に関する著作者人格権その他一切の 人格権を東京都およびその指定する者に対して行使しない旨をご了解いただきます。
- 2. 応募者には、上記 1.その他に基づく応募作品に関する権利の譲渡や保護等に関して 必要となる書類の提出、その他の各種事務・手続き等についてご協力いただきます。
- 3. 応募者には、その応募作品が、当該応募者自らが創作したオリジナルの作品であって、 既に発表されているもの(ウェブサイト等で掲載されたものも含みます)と同一また は類似ではないこと、TEAM BEYOND 公式ウェブサイトへの掲載前に第三者に公 開していないこと、および第三者の著作権、商標権、意匠権その他の知的財産権等の 一切の権利を侵害するものではないこと、その他応募要項の違反がないことを表明し、 保証していただきます。なお、これらに違反した場合は、「制作にあたっての注意事 項」に記載したとおり、審査の対象外とし、または応募を無効とさせていただくこと があります。
- 4. 応募者には、応募要項の違反があった場合、その一切の責任(当該違反に起因する一切の損害について賠償する責任が含まれます)を負うとともに東京都に一切の迷惑をかけないことを確約していただきます。
- 5. 受賞作品および最終審査候補作品の決定にあたり、制作過程に関する情報や制作作段階における関連資料を確認させていただく場合があります。
- 6. 応募者には、東京都の要請に応じて、上記の権利譲渡および承諾を証明または確認するために必要となるあらゆる書類や資料の作成を行なうことをご了解いただきます。

● 個人情報の取り扱いについて

- 1. 応募者の個人情報については、応募や選考に関するご連絡その他審査事務に必要な範囲のみで使用いたします。
- 2. また、「BEYOND AWARD 2017 審査会」その他審査事務に関わる第三者に対し、 必要な限度で提供することがあります。
- 3. その他「TEAM BEYOND」における個人情報の取り扱いについては、 TEAM BEYOND 公式ウェブサイトのプライバシーポリシーもご確認ください。

● 応募者について

応募者には、以下についてご了解いただきます。

1. 応募者には、実名を含む連絡先などの個人情報の提出をお願いいたします。

応募者個人情報提出内容

※ウェブサイト上では下記情報はもとより実名が出ることはありません。

● 氏名 : 実名をご入力ください。(グループの場合、代表者だけでなくメンバー全員の氏名も必要です)

● 連絡先 :連絡がとれる電話番号をご入力ください。(携帯電話番号等)

● 生年月日:生年月日をご入力ください。(お電話の際本人確認などで利用することがあります)

- ◆ 未成年の方の応募には保護者の実名も明記していただきます。
- 2. 最終審査候補作品の応募者には、別途制作物の制作作業を依頼することがあります。また、その他、今後の「TEAM BEYOND」広報活動等への協力をお願いすることがあります。

● その他注意事項

- 1. 応募に要する費用はすべて応募者の負担とします。その他、応募者が応募を行ったことにより被った損失・損害については責任を負いかねます。何らかの障害、事故等でご応募いただいた情報が確認できない問題が発生した場合についても責任を負いかねます。
- 2. 一次審査を通過した作品は、作品情報とともに TEAM BEYOND 公式ウェブサイト にて一般公開されます。応募作品に係るデータ等のバックアップは各自でご対応ください。
- 3. 応募要項の内容も含め、応募に関する一切の事項は、日本法に準拠し、日本法に従って解釈されるものとします。応募要項への同意をいただいたにも関わらず応募に関して紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を専属的合意管轄裁判所とします。
- 4. 未成年者の方は、応募にあたり、親権者等の法定代理人の同意を得たうえで応募してください。受賞作品および最終審査候補作品の決定にあたっては、著作権等の権利譲渡や賞品拝受権に関して改めて親権者等の法定代理人の同意が必要になります。
- 5. 応募後に、応募作品に関する知的財産権その他の一切の権利の全部または一部について、第三者にこれを譲渡し、移転し、若しくは担保に供する等の処分をし、または出願・登録手続きを行っていること、TEAM BEYOND 公式ウェブサイトへの掲載前に応募作品が公表されていること、その他応募要項に違反する事実が判明したときは、応募を無効とすることがあります。
- 6. グループでの応募の場合、制作に関わった方全員を、グループのメンバーとして実名で申請いただきます。また、グループの代表者には、メンバー全員が、この応募要項の内容につき承諾していることを確約し、保証していただきます。メンバーの一部が応募要項に承諾しておらず、あるいは応募要項に違反していることが判明したときは、応募を無効とすることがあります。
- 7. 応募要項に記載された事項(スケジュール、注意事項等)については、今後「BEYOND AWARD 2017事務局」の判断により、変更または追加することがあります。その場合は、それまでに既に応募した方であってこれに同意できない方は、その応募を撤回できますが、応募に要した費用その他損失・損害等の負担には応じかねます。
- 8. 「BEYOND AWARD 2017 事務局」事務局員および「TEAM BEYOND」事業の関係者は応募することができません。
- 9. 審査過程については、 TEAM BEYOND 公式ウェブサイトにてご報告する予定です。 個別のお問い合わせにはお答えできませんので、ご了承ください。

8 制作にあたっての参考資料

● TEAM BEYOND とは

パラスポーツを <u>"応援する人を増やす"</u> 東京都のプロジェクトです

パラスポーツの振興をきっかけに

誰もがいきいきと生活できる、活躍できる東京へ

東京 2020 大会成功のカギを握るパラスポーツを盛り上げ、 2020 年以降も東京、日本に、パラスポーツが根付いていくことを目標に、 TEAM BEYOND の様々な活動を展開します。

そして、あらゆる違いを乗り越え、ひとりひとりが輝くことのできる未来へ。 障害のある人もない人も、女性も、男性も、子供も、高齢者も、 誰もが希望を持っていきいきと生活できる、活躍できる都市 「ダイバーシティ」を目指していきます。

(公式ウェブサイト)

https://www.para-sports.tokyo/



● TEAM BEYOND 主な活動内容

・ メンバーによる競技大会観戦

第 28 回日本パラ陸上競技選手権大会において、TEAM BEYOND のTシャツを着てスティックバルーンを持ったメンバーが、TEAM BEYOND メンバーの鈴木徹選手を応援。競技後には交流会も実施

(レポート)

https://www.para-sports.tokyo/report/20170628_suzuki.php

メンバーによるボッチャ大会参加 抽選で選ばれたメンバーが、TEAM BEYOND メンバーの田村亮さん、蛯原友里さん をキャプテンとするチームを結成し、「2017ボッチャ東京カップ」に参加

(レポート)

https://www.para-sports.tokyo/report/20170318_boccia.php

 メンバー限定イベント「TEAM BEYOND LIVE FIELD 2017」
豊洲 PIT において、TEAM BEYOND メンバーの AI さんほかが出演する、音楽とパラスポーツを融合するイベントをメンバー限定で実施 (レポート)

https://www.para-sports.tokyo/report/20170418_live_field.php

放送局と連携したイベント「TEAM BEYOND PLAY FIELD 2017」
TBS テレビの春の恒例イベント「ママサカス 2017」において、「親子で協力して、初めてのパラスポーツに挑戦してみよう!」というテーマのもと、パラスポーツの要素を取り込んだ複数のコンテンツを展開

(レポート)

https://www.para-sports.tokyo/report/20170324 play field.php